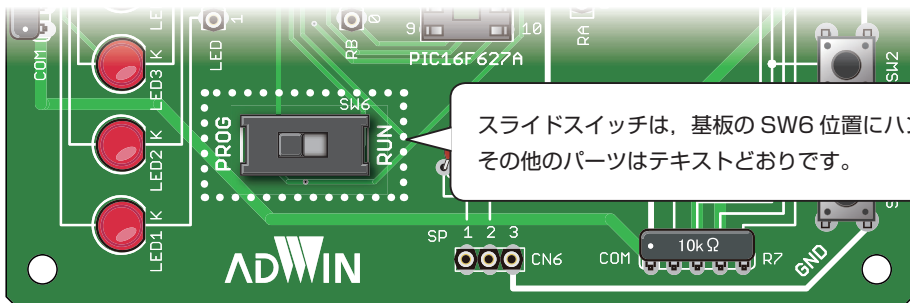


# PROG/RUN モード切り替えスイッチを採用し、プログラム書き込み時の手順を簡略化しました！

## 追加パーツ

	部品名	使用番号	取り付け注意点
	スライドスイッチ	SW6	極性はありません。 取り付けはどちら向きでもかまいません。

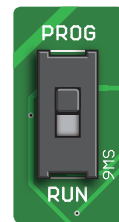
## 取り付け位置



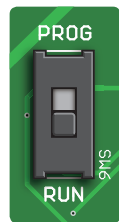
## スライドスイッチの用法

スライドスイッチは、弊社製品の PIC ライター「A+ タイプ」か「B タイプ」を使って、ICSP 端子を接続して書き込む際に使います。

プログラム書き込み時は、スライドスイッチのつまみを「PROG」側に書き込み後、プログラムを実行させたい時は「RUN」側にしてください。



書き込み時



実行時

さらに、テキスト P.31 の内容に変更があります。

(注) 書き込み時は、必ず AC アダプタを抜いてください。

書き込みを終えたら、実験基板に AC アダプタを差し込んでください。

テキスト P.31

上記の内容に従わず、書き込み時は、必ず AC アダプタを挿したままにしてください。

